

経営戦略計画

財団法人名古屋市文化振興事業団

平成23年3月

目 次

1	経営戦略計画の策定	1	頁
2	経営理念	1	頁
3	団体の事業概要	1	頁
4	経営戦略	1	頁
5	個々の取組・成果目標	3	頁
6	進捗管理等	7	頁
※	参考（団体の概要）	9	頁

1 経営戦略計画の策定

(1) 計画策定の趣旨

当事業団は、名古屋市が平成 21 年 4 月 22 日に公表した「外郭団体のあり方」において、「本市の文化活動における(財)名古屋市文化振興事業団の役割は大きく、現在有している専門性と、これまでに培われた文化関係者との連携を生かしながら、本市の施策の実現に向け、引き続き、活用していく必要がある。」とされました。

また、平成 22 年 3 月に名古屋市が策定した「名古屋市文化振興計画」において、名古屋市と当事業団は市民の文化活動を支援する役割が期待されています。

当事業団は個性豊かな魅力ある市民文化を創造するために設立された団体であり、その役割を今後も永続的に果たせるような運営を図る必要があります。

こうしたことから、従来の経営改善計画から一步踏み込み、経営戦略の視点を盛り込んだ経営戦略計画を策定します。

(2) 計画期間

平成 23 年度～平成 25 年度

2 経営理念

名古屋市民の文化芸術の振興に資する事業を行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与します。

3 団体の事業概要

(1) 文化芸術の振興を図るため、文化施設等を活用した文化芸術に関する体験事業や鑑賞事業の実施を通じて、市民に対して文化芸術にふれる機会と場を提供します。

(2) 文化芸術の振興を図るため、表彰・コンクール等の実施や活動の場の提供等を通じて、市内を中心に活動する芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援し、奨励します。

(3) 文化芸術の振興を図るため、芸術家及び文化芸術団体等の活動状況の情報を幅広く収集し、これらの情報を市民に提供します。

4 経営戦略

(1) 団体の現状と課題

ア 文化芸術の振興

当事業団は、名古屋市市民文化振興事業積立基金を活用し、文化事業の企画・マネジメント力、様々な分野の文化人・文化団体等との密接なつながりを生かして、魅力ある文化事業を実施しています。

また、文化振興の専門家集団としての豊富な人材を生かして、多種多様な文化施設を運営することで、名古屋市の文化振興に総合的に取り組んでいます。

名古屋市が策定した名古屋市文化振興計画において当事業団に期待されている役割を果たすため、魅力ある文化事業等を実施します。これらの事業を通じて、一人でも多くの市民に事業団の存在を知ってもらいます。

イ 業務執行体制

当事業団の組織は、文化振興部と24の文化施設等で構成されています。

各所属には、文化事業の企画に関し専門的知識を有する職員や照明・音響等の舞台技術の資格を有する職員を配置しています。

文化振興部で実施する文化事業については、名古屋市からの補助金等が減少する中、補助金以外の収入の確保、事業の見直し、経費の削減等により、市民に提供する文化事業の水準を維持することが求められています。

各文化施設等については、指定管理者制度のもとで民間事業者等との競争に対応するため、収入の増収と支出の削減を図りつつ、市民サービスの水準を維持する必要があります。

ウ 財務内容

当事業団の経常収益に占める、名古屋市からの補助金・指定管理料等の割合は約76.2%（平成21年度実績）となっていますが、名古屋市からの収入は年々減少傾向にあります。

これまで名古屋市からの収入に頼ってきましたが、これからはより一層収益を上げ、名古屋市からの収入のみに頼らない運営を確立する必要があります。

エ 人材育成

当事業団では、地元の文化芸術団体と協力してミュージカルやオペレッタ等を創り上げる文化事業や、各文化小劇場において地域に密着した文化事業等を実施しています。こうした事業を通じて、文化事業の企画・運営のノウハウの蓄積や地元文化人・文化団体とのネットワークの構築を図っています。

また、市民会館等の大規模施設や地域密着型の文化小劇場、能舞台を持つ能楽堂等、多種多様な文化施設を長年に渡り安全かつ円滑に運営しています。これらを通じて、文化施設の管理運営ノウハウの蓄積や技術力の向上を図っています。

しかしながら、指定管理者制度により、4年ごとに指定管理者に選定されない恐れがあるため、雇用が不安定になり、職員の安定的・継続的な採用・育成が難しくなっています。

(2) 経営戦略方針

- ア 市民とともに名古屋市の文化芸術を育みます。
- イ 文化活動拠点となる指定管理施設を確保します。
- ウ 環境変化に対応できる安定的な経営基盤を築きます。
- エ 文化芸術に関する企画力・技術力等を高めます。

(3) 経営戦略目標

ア 名古屋市の文化振興（公共サービスの充実）

名古屋市文化振興計画に基づいて、事業団が期待されている役割を果たすため、地元文化人・文化団体とのネットワークを生かして、魅力ある文化事業を展開します。また、各文化施設の有機的連携、ボランティアとの協働、文化の裾野の拡大等、名古屋市の文化振興を図ります。

これらの取り組み等を積極的に情報発信することにより、事業団の知名度アップに取り組みます。

イ 意識改革・業務改善（効率性の発揮と成果、財務内容の改善・向上）

民間事業者等との競争に対応するため、職員の意識改革、たゆまぬ業務改善により、施設の利用率の向上、施設の収支率の向上、組織体制・給与制度の見直し等、効率的・効果的な運営に取り組みます。

ウ 自主財源の確保（財務内容の改善・向上）

名古屋市からの補助金・指定管理料等のみに頼らないようにするため、利用料金収入の増収、入場料収入の増収、企業からの協賛金・広告料収入の獲得等、自主財源の確保に取り組みます。

エ 企画力・技術力の向上（人材力・現場力の強化）

職員研修の充実、職員の資格取得の促進等により、文化事業の企画力、照明・音響等の技術力や接客能力の向上を図ります。

名古屋市文化振興計画に基づき、文化人・文化団体の活動を積極的に支援するため、専門的・個別的ニーズに効果的に対応できる、コーディネート力を備えた人材を育成します。

また、公益財団法人の職員として市民から信頼が得られるよう、コンプライアンスを徹底します。

5 個々の取組・成果目標

(1) 名古屋市の文化振興（公共サービスの充実）

ア 魅力ある文化事業の展開

名古屋市文化振興計画に基づき、地元文化人・文化団体の創造活動の支援や低料金で質の高い鑑賞事業の実施等、事業団ならではの、市民に求められている魅力ある文化事業を展開します。

また、地元文化人・文化団体、文化活動を楽しむ市民、事業団友の会会員等、名古屋市の文化振興を支えてくださるサポーターを増やし、文化の裾野を拡大します。

イ 文化施設の有機的連携

文化施設については、施設や地域の特性を生かした事業を実施します。文化小劇場については、例えば、北は伝統芸能、熱田はクラシック音楽、千種は演劇等、各文化小劇場に特色をもたせ、13館で総合的に名古屋市の文化振興を図ります。

また、文化小劇場の利用者が市民会館や芸術創造センター等に一堂に会し、発表・交流する機会を提供するなど、文化施設間の連携を図ります。

文化小劇場13館を管理運営しているというスケールメリットを生かして、文化小劇場全館が連携した事業も実施します。

ウ 地元文化人・文化団体や名古屋市の文化関係施設との連携強化

文化事業の企画運営に当たっては、地元文化人のアドバイスをいただいたり、職員が地元文化団体の文化事業の企画に参画したりするなど、地元文化人・文化団体との協働事業に取り組みます。

地元文化人・文化団体との長期的・継続的な協力関係を築き、施設において従来のような各文化団体の発表会にとどまらず、施設職員と地元文化人・文化団体が一緒になって一つの作品を作り上げる取組みを推進します。

また、名古屋市との密接な関係を生かして、名古屋市博物館、名古屋市美術館、名古屋市市政資料館等の施設と連携した事業を実施します。

エ ボランティアとの協働

施設職員とボランティアが時間をかけて信頼関係を築き、両者が協力して施設の魅力向上に取り組みます。最初は事業実施の際の受付等を行ってもらい、広報紙の作成にも携わってもらいます。ゆくゆくは、事業の企画・運営にも関わってもらえるよう、ボランティアとの協働を推進します。

オ お客さま満足度の向上

文化事業を鑑賞していただいたお客さまに「よかった」といっていただけるように、魅力ある文化事業を実施します。事業実施の際には、アンケート調査を実施し、その結果を次年度に生かします。

また、施設を快適にご利用いただくため、お客さま満足度調査を実施し、お客さまのご意見・ご要望を把握します。いただいたご意見・ご要望は真摯に受け止め業務改善につなげることで、お客さま満足度の向上を図ります。

カ 事業団の知名度の向上

当事業団は様々な文化事業を実施するとともに、24の文化施設等を管理運営していますが、「名古屋市文化振興事業団」という存在は、市民の皆様あまり知られていないと思われま

す。公益財団法人への移行を機に、愛称の募集、キャッチフレーズの設定等により、私たち事業団の存在を一人でも多くの市民の皆様を知っていただき、事業団への期待感・信頼感・安心感の向上を図ります。

また、テレビ・新聞等のマスメディアとのパイプを強化し、文化事業の広報を通じて事業団をPRします。

区 分	実 績(21年度)	目 標
文化事業の好評価率の向上（文化振興部）	88.4%	89.0%
文化事業の入場率の向上（文化振興部）	65.1%	66.0%
地元文化団体協働事業の実施（文化小劇場）	11 館	13 館
ボランティア協働事業の実施（文化小劇場）	5 館	13 館
お客さま満足度（文化施設）	98.5%	99.0%

（2）意識改革・業務改善（効率性の発揮と成果、財務内容の改善・向上）

ア 文化事業の水準の維持

名古屋市からの補助金等が減少する中、企業等からの協賛金・広告料等の収入を獲得するとともに、文化振興部と施設で重複する事業の見直し、経費の削減等を行うことにより、市民に提供する文化事業の水準を維持します。

イ 施設の利用率の向上

施設点検日の弾力的運用による利用促進、ダイレクトメールの送付等の営業活動により、利用率の向上に取り組みます。

ウ 施設の収支率の向上

施設の利用促進、有料公演の実施等により、収入の確保に取り組みます。

また、光熱水費の削減、契約方法・仕様書の見直し等により支出の削減にも取り組みます。

エ 組織体制・給与制度の見直し

職員配置の適正化等により、簡素で効率的な組織とします。一方、地域に密着した文化小劇場とするため、人件費を抑えつつ、文化小劇場館長の2館兼務を段階的に解消し、1館1館長の文化小劇場を増やしていきます。

また、超過勤務時間の縮減により、人件費を抑えます。

年々、職員の給与が下がる中であっても、職員の士気の向上を図るため、勤務成績や職責に応じた給与制度の導入等について検討します。

オ 管理施設の拡大

名古屋市において、瑞穂・昭和文化小劇場の建設が検討されています。これらの施設の指定管理者が公募された場合には、応募できるよう準備を進めます。

また、現在事業団が管理していない公会堂等の文化施設の指定管理者の公募があった場合、応募できるよう準備を進めます。

区 分	実 績(21年度)	目 標
施設の利用率の向上(大中規模ホール)	85.3%	86.2%
〃 (文化小劇場ホール)	80.7%	81.0%
施設の収支率の向上(大中規模施設)	45.6%	48.5%
〃 (文化小劇場)	23.9%	26.8%
文化小劇場 1館 1館長制	1館	8館
1人当たりの年間超過勤務時間数	212時間	172時間

※利用率及び収支率の目標値については、指定管理者事業計画書を提出するときに再検討しますので、その結果、修正する場合があります。

(3) 自主財源の確保（財務内容の改善・向上）

ア 利用料金収入の増収

施設点検日の弾力的運用による利用促進、ダイレクトメールの送付等の営業活動により、利用料金収入の増収に取り組みます。

また、条例・規則改正を伴う、新たなホール利用料金区分の設定、附属設備の延長料金の設定、減免の取扱いの見直し及び物品販売手数料の徴収等の増収策を名古屋市に提案します。

イ 入場料収入の増収

市民ニーズに対応した、魅力ある文化事業を実施することにより、入場料収入の増収に取り組みます。

また、入場料の設定に当たっては、収支見込み、入場者数見込み、民間事業者の動向等を総合的に勘案し、適切な料金設定とします。

ウ 企業からの協賛金・広告料収入等の獲得

当事業団が実施する文化事業を経済団体や各企業にPRすることにより、企業からの協賛金・広告料収入等の獲得に取り組みます。

また、花、弁当、ビデオ撮影等の業者の斡旋手数料の徴収について検討します。

区 分	実 績(21年度)	目 標
利用料金収入の増収	746,772 千円	759,390 千円
入場料収入の増収	38,013 千円	38,773 千円
企業からの協賛金・広告料収入等の獲得	703 千円	900 千円

※利用料金収入及び入場料収入の目標値については、指定管理者事業計画書を提出するときに再検討しますので、その結果、修正する場合があります。

(4) 企画力・技術力の向上（人材力・現場力の強化）

ア 職員研修の充実

文化芸術に関し専門的知識を有し、文化事業を企画・運営できるアートプロデューサーを育成するとともに、舞台・照明・音響といった舞台技術に関し、専門的知識・技術を有する職員を育成するため、職員研修の充実に取り組みます。

イ 職員の資格取得の促進

お客さまサービスの向上を図るため、また、お客さまに安心して施設をご利用いただくため、事務職員についてはサービス接客検定、技術職員については各種舞台技術関係資格の取得を促進します。

ウ コンプライアンスの徹底

職員倫理規程の適切な運用、公正な職場づくり制度の実施、職員倫理研修の実施等により、法令違反や不正行為等のコンプライアンス違反の予防と早期是正を図り、適正な職務の執行と公正な職場づくりを推進します。

エ マルチスタッフ化の推進

事務職員、技術職員といった職種の枠にとらわれず、事務職員が技術の仕事も、技術職員が事務の仕事も行うことができるよう、職員研修（異職種研修）を実施します。将来的には、一人の職員が事務・技術両方の仕事を行うことができるよう、人材育成に取り組みます。

また、舞台技術については、専門のパートだけでなく、舞台と照明、舞台と音響というように一人の技術職員が複数のパートを担当できるよう、技術職員を育成します。

区 分	実 績(21年度)	目 標
技術職員の資格取得の促進	67.2%	72.5%
異職種研修の実施	0回	2回

6 進捗管理等

(1) 進捗管理

事業ごとに企画シート・報告シートを作成し、事業の進捗状況を管理するとともに、目標の達成状況の確認や次年度へ向けた課題の整理等を行います。

また、この計画で定めた成果目標の達成状況を、評議員会・理事会、部長会、部・施設長会等に定期的に報告し、目標達成に向けた検討を行います。

年度終了後は、成果目標の達成状況を把握し、達成できた場合もできなかった場合もその理由を究明し、目標達成に向けた取り組みに反映させます。

(2) 職員提案

職員提案制度の実施により、職員からアイデアを募り、業務改善につなげることで、職員の士気の向上を図るとともに、事業団全体が一体となって経営戦略目標を実現します。

(3) 情報発信

経営戦略計画の内容や達成状況等については、ホームページ等で公表することで、市民の皆様に情報発信します。

参 考 (団体の概要)

							平成22年7月1日現在	
設立年月日	昭和58年7月1日	代表者氏名	理事長 相羽 規充					
所在地	名古屋市中区栄三丁目18番1号				電話番号	052-249-9390		
ホームページアドレス	http://www.bunka758.or.jp/							
資本金・基本金	60,000千円	市出資・出捐金	30,000千円	(50.0%)				
所管部局	市民経済局文化観光部文化振興室				電話番号	052-972-3172		
設立目的	名古屋市民の文化・芸術の振興に資する事業を行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与することを目的とする。							
主な事業	事業名	21事業費	事業の概要					
	名古屋市の文化施設の管理	2,328,994千円	劇場・ギャラリー等文化施設の管理運営					
	自主文化事業	185,862千円	現代の文化・芸術に資する事業、伝統的な文化を普及する事業					
	市民芸術祭	43,103千円	芸術文化の総合的イベントとして主催事業、参加事業を実施					
役員数			常 勤			非 常 勤		
	役員数	3人	(うち市派遣)	0人	(うち市OB)	2人	12人	
	職員数	99人	(うち市派遣)	3人	(うち市OB)	0人	25人	
21常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)	7,562千円	21正規職員平均給与 (臨時職員、嘱託職員除く)	7,300千円	正規職員平均年齢	42.2歳			
市からの財政支出			19年度	20年度	21年度			
	委託料	16,178千円	26,793千円	16,527千円				
	内 随意契約金額	(16,178千円)	(26,793千円)	(16,527千円)				
	補助金	970,119千円	663,476千円	507,344千円				
	指定管理料	1,888,791千円	1,821,119千円	1,815,495千円				
貸付金 (年度末残高)	0億円	0億円	0億円					
員 益 計 算 書	経常収益	3,560,115千円	3,242,835千円	3,068,498千円				
	経常費用	3,582,265千円	3,184,023千円	2,853,926千円				
	経常利益(損失)	▲ 22,150千円	58,812千円	214,572千円				
	当期利益(損失)	▲ 22,150千円	58,812千円	214,572千円				
貸 借 対 照 表	総資産	1,561,568千円	1,573,368千円	1,702,583千円				
	内 流動資産	(808,378千円)	(630,277千円)	(558,285千円)				
	内 固定資産等	(753,190千円)	(943,091千円)	(1,144,298千円)				
	総負債	1,362,264千円	1,315,240千円	1,229,940千円				
	内 流動負債	(810,862千円)	(663,683千円)	(627,449千円)				
	内 固定負債等	(551,403千円)	(651,558千円)	(602,491千円)				
	純資産(正味財産)	199,304千円	258,128千円	472,643千円				